

第4回

「つなげる ひろげる 天明鋳物」

平成29年10月29日

講師：佐野市産業文化部文化振興課

はやしだ はるみ
天明鋳物まちづくり係長 林田 治美 氏

お茶の世界では、「西の芦屋、東の天明」として天下にその名を馳せている天明鋳物。歴史を紐解くと、天慶年間（938年～947年）に河内国丹南（大阪府）から5名の鋳物師が移住し、藤原秀郷の命により軍器類を鋳造したのが始まりと伝えられています。

佐野市天明鋳物のまちづくり推進計画では、市民との協働・連携、文化資源の環境整備、新商品の開発及び販路の開拓、次代を担う人材の育成を柱として活性化を図っております。



甗（こしき）口釜
（江戸中期）



風鈴



IH 対応の銚子

○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・家の有るものを飾っておくだけでなく普段使っていこう。現代のライフスタイルに合ったものを制作する為に若いデザイナーの力を。
- ・「天明鋳物」について歴史を学ぶことが出来て良かった。観光客を増やすためには、市外の人への情報発信が欠かせないと感じた。
- ・鋳物師さんの素顔を知れてよかったです。林田治美様のお話も力強くわかりやすく良かったです。